

# 晩年

## D・A・N 通信

### No.4

2023.2.21～2023.5.20

### 団 士郎

誰もが歳をとり、それに伴う変化を受け入れて暮らしているように、私もそのつもりだが、元気であるのは事実のようだ。過度な若作りや、時代の波を受け入れようとし過ぎるのはちょっとなあと考えていて、自分の関心のままに過ごせたらいいと思いつつながら76歳になった。団塊世代、たくさんいる世代の爺様の一人である。

近しい友人、知人にも亡くなる人がでてきて、当然その仲間である自分も、巡り合わせのどこかにいるのだろう。だからかどうかは分からないが、興味関心のバランスが変化してきたのかなと思うこの頃だ。

新聞を配達してもらわなくなっていて一年程たった。溜まる新聞紙の処理に困ったのが原因だ。配達して、後日引き取ってくれるまでのサービスだったら続けていた。新聞、雑誌、書籍、TV ニュース、youtube、etc. いろいろある中から紙媒体の新聞を削除した。現在、二紙のデジタル契約に切り替えてスマホで見ている。

しかしいわゆる「新聞を読む」一連の動作も含めた時間の過ごし方が生活の中からなくなった。生まれてからずっと、日常生活にあった新聞がある生活を変えてしまったのだ。その影響を確定することはできないが、自分の社会への関心の向き方に影響はあった気がする。

良い変化なのか、悪い変化なのか、どちらでもない別の変化なのか、なんとも言えないが、「変化」が起きていることは違いない気がする。だから今の生活を変えたいと思ったら、いつも言っているように、決意や判断、解釈より、具体的な生活上の変化が大切だ。

2月●日

応はうざかったりするのだから勝手なものである。

Twitter 社から12周年記念日だと知らせてきた。そうか、2011年東日本大震災の数週間前、よくわからないままやり始めた Twitter。それが今では8000 ツイートを超えた。飽きもせず、日録を書き続けるのは趣味だ。

それ以前、郵送版 DAN 通信で書いて送っていた時より、ほんとと楽で簡単だ。何の意味があるのかなんて考えないタイプだから続くのだろうし、日を置いて読み返して自分が楽しめるのだからツイッター、フェイスブックは楽しい。ちょっとしたコメントや「いいね」も嬉しい。でも侵入的な反



2月●日

三月の奈良/広陵町とホノルル漫画展の準備を朝から。作品を取りに奈良からNさん夫妻が来てくれ、展示関連を引き受けてくれているHさんも来訪。

一緒にハワイ展の準備、作品選択と国際小包パッケージも無事完了。こちらは明日、集荷に来てもらったらフィニッシュ。(しかし実際は、国際小包の伝票作りにミスったり、コロナ禍で、輸送に遅延が起きていますとかで、到着日を確約できないとか、いろいろ面倒があった)

この大量のパネル、掛け軸はずっと立命館大学に保管して貰っていた。それを過日、自宅に搬送した。今後はここから発送で、いろんな場所でマンガ展を開催したい。そう思っていたら、早速複数の企画が進行中になった。



2月●日

石川家族面接を学ぶ会で一日 WS。ここもずいぶん長期継続開催になっている。しかし初参加も多く、若い世代も沢山いての開催。午前中、二時間の話が好評である。この頃は喋りすぎだと言われることも多かったから意外。初めて使う会場は金沢港のターミナルビル。海が見える。中型船舶が方向転換中。



●月●日

パリ在住の安發明子さんのクラウドファンディングを応援している。この漫画を日本語で読みたいと思ったからだ。

「日本でワーカーをしていた頃のことと、どうしてこの漫画を日本に紹介したいと思うに至ったかについて書きました。是非読んでください。できたらシェアもお願いいたします。」

す。」

こうスタートしたクラファンは締め切りの4月11日、113%で達成。今年の年末には出版の予定だ。フランスの「エデュケーター」という仕事のことに興味湧く。



2月●日



一日中自宅であれこれ雑多な準備作業。郵便受けに届いていた普段なら読まない印刷物、高校の同窓会誌。春日丘高校同級生の記事に目がとまった。俣野が「神田川」の作詞家喜多条忠の事を書いている。二人とも余り口にしないような記憶がある思春期の同級生知人だ。あの頃、いろんなことがあった。

3月●日

仕事場にこもりきりで、3月末の恒例「ぼむ」漫画展のカラー版掛け軸制作をしていたら、月が変わっていた。

同時に雑誌連載新作の差替え一作も描いていたので、昼夜漫画家生活だった。やれば片付いていくところは職人風で気持ちよかった。気に入ったものや、ちょっと…な仕上がりになるのは仕方ない。





3月●日

さて週末、昨日は広陵町で少人数の家族理解半日 WS。参加者が楽しげなのになにより。本日は漫画展会場の広陵町図書館で講演会。毎年、町長がはじめの挨拶だけでなく、最後まで聞いてくれている。

マンガ展示は何年も継続しているものなので、綺麗に収まっていて安心感。図書館入り口だから、たまたま目についてみてくれる人も多い好条件。来週末、英語版掛軸展示をする予定のホノルル展が、展示状況が全く見えないので心配。



3月●日

ハワイに来ている。ホノルル コンベンションセンターにはたくさんの方が訪れていて、あちこちの催しが活発である。その中では比較的静かな展示だが、英語版を選択したことで読んでくれる人がいつもとちがう。巻物を一コマずつスマホに撮っている男性もあり。朝は通訳さん付の漫画トークも開催。

勝手のわからない私に、ハワイ在住のNさん他、多くの人々の貢献を頂いて週末公開。翌月曜にはパロロ本願寺でも1日展。



ワイキキビーチ近くのホテルの裏にある屋台店 ebinomi のガーリックシュリンプライスが美味しい。tsurutontan の肉うどん。美味しかったけど、通りの向かい側の丸亀製麺の三倍、チップ込み 22.45ドル。高い！

初日に連れて行ってもらったレストランは、どれも美味しかった。ご馳走様です。

3月●日

ハワイ滞在中、深夜はマガジンの編集最後の仕上げをしていた。小さなミスはあるだろうが、おおむね完了とっていた。

ところが帰国早々のニュース！「マガジンの表紙絵が42号とかぶっている！」。なんてことだ、実はこの前に制作しかけたものもダブっていた。

記憶力の限界を超えているのだろう。まあこんなニュースでよかったかと、無事帰国を一安心している羽田空港。



3月●日

305ページのマガジンをプリントして製本。ところが勘違いでホッチキスを左右反対に綴じてしまった。読めるからこのままでいいけど違和感。でもそのせいで、いつもより読んでいます。ページナンバーの入れ間違い(私担当部分)を



発見したり、面白い記述を見つけたり。読者が増えてきている気配も。



3月●日

Hさんの依頼で、秋の近畿エリア児童養護施設職員大会で講演と漫画展をさせてもらうことになった。朝、仕事場から京都御苑を抜けて、展示予定スペースの下見に久々に母校同志社大学今出川キャンパスに。見違えるような変化も随所に。↓ここに展示する。



昨日、来訪者にいただいた百合が強烈に香る仕事場に夕刻、立命館大法学部同窓会大会での講演打ち合わせに三名来訪。当日の参加者に配りたいと、「家族の練習問題第九巻」を100冊お買い上げ。

夜、クラファン出版準備中のパリ在住の世話人Aさんから電話。朝から色んなことのある一日だった。

3月●日

今年も白木蓮は綺麗だが、数日で路上のゴミと化するだろう。この花弁は放置するのをためらうほどに汚くなるので掃除必須だ。

黄色いのはニオイトサミズキだとアプリはいう。こんなのウチにあったかな？そして椿。それらを眺めながら、

返却されてくるパネルマンガ作品を待つ。広陵町漫画展、Nさんご夫妻、ありがとうございました。



3月●日

只今併読中の四冊。「黄色い家」、さほど興味があるわけでもなかったのに、読み始めると一章くらいググッとすすむ、不思議だ。矢崎泰久さんも和田誠さんも亡くなった。そして掲載されている向田邦子さんとの長い対談が面白い。バリバリの現役時代を楽しませて頂いた方々がみんな故人だ。



3月●日

さあ、搬入、展示完了。明日から恒例の「ぼむ」漫画展。毎日、午後2時以降は在廊予定です。ご都合付けばお知らせください。おいでの節は、お声かけください。



3月●日

「ぼむ」展も明日まで。連日、いろんな方が来てくださるのはありがたい。「家族の練習問題1-9」もたくさんの方に買って頂いて嬉しい限りだが、中国語のはないのかとリクエストされて驚いた。一昨年出た四冊シリーズを仕事場まで取りに戻った。連載の新作も完成させたし、多忙の三月をようやく乗り切った。



4月●日

娘母子が昨日から来ている。しばしお爺さん DAYS。夕飯の買い物に三人で出て、桜満開の公園に。スケジュールがない日々は、こんな過ごし方もある。



いきつけの中華屋で、夕刻早めの食事。快調に元気にお喋りしている孫の声がうるさいと言った客があったらしく、音量を小さめにと店員が告げにくる。二歳児の声の調節は無理だろう。泣き叫んでいるのでも、ぐずっているのでもない。こんなことを言う世間では、子連れの人たちは動き辛かろう。

「子どもの声」をうるさいとクレームする空気が世の中に蔓延している。「うるさいなあ」と思う気持ちは個人差でしょうがないと思うが、「何とかしろ！」と文句言うのは違うだろう。「お前だって、子どもの頃はうるさかったのを忘れたのか！」と批判されても仕方ない。

お客なら、何にでもクレーム付けていいと思うような大

人を育てた世の中がまったく馬鹿げている。これじゃ少子化対策なんて、口先のニュースだけになってしまう。



4月●日

新年度、長く継続の草津プログラムに。最近、家族療法って私はあまり言わなくなっているが、25年近く前にスタートした会だからなあ。



4月●日

明日、三重県で仕事を引き受けている。日帰りは可能だが、めったに出勤かない方面なので前乗り。近鉄特急の京都から直通列車をネット予約しておいたら、えらく豪華なこんなのがあった。二時間程楽しむことに。





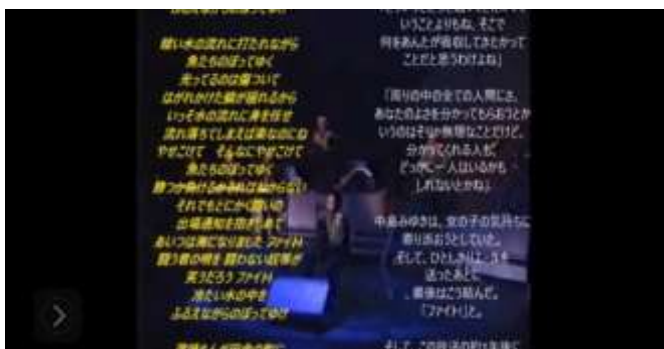
お伊勢さんに来たのはいつだったろう。初めては小学校の修学旅行、64年前。その後、伊勢湾台風の後、大きな木がたくさん倒れていたお正月の初詣。そして今かな。鳥羽や志摩半島には来たけど。

いやいや、職場のバス旅行で立ち寄ったのかな？ おかげ横丁とやらの賑やかな様変わり感、高山、錦市場、湯布院等と似ている。



4月●日

帰路の近鉄特急でYouTubeを見ていた。拓郎が歌う中島みゆきの「ファイト」を聞いていたら、夕景の車窓がこんな気分を醸し出した。ワクワクでもドキドキでもないけど、何ともいえない嫌じゃない気分が湧き上がってきた。あれは何だろうなあ。



4月●日

勘違いやミスが嫌いだ。誰でもだと言われそうだが、そのレベルではないのを、他の人のエピソードを耳にすると感じる。それでも実際はダブルブッキングのようなことが起きてしまう。諦めて次善の対応をするのだが、結果的にいろんな人に迷惑をかけてしまい、少し謙虚になる。それも良いのかもしれない。

4月●日

どこかで記事を目にした記憶のあった本が、通りすがりの書店で目に飛び込んできた。風呂で読み始めたら止まらない。明日の朝は早めに約束があるのに。こういう

出だし、好きだなあ。



4月●日

横尾忠則を巡ってきた。西脇市の岡之山美術館。ゆかりの地だが常設展示はなかった。興味深い古い図録2冊をゲット。神戸市に回って横尾忠則現代美術館開館10周年記念開催の「満腹腹腹満腹」展を観る。いやーあ堪能した。こういう企画、展示があるかあと感心。エネルギー満々だ。



4月●日

大盛りアサリうどん、丸亀製麺。ここ数年、この季節メニューがとにかく好きなのである。しかし、コロナ禍中はメニューになかった。それが復活。勇んで近くの店に行ったが、取り扱っておりませんと書いてある。

今日は同意見のNと別店舗に。ところがここにもない！店で尋ねると、調理設備が路面店でないと準備できないのだという。そしてやっと三店舗目で遭遇。やっぱり美味

しい。海の香りだ。



4月●日

地元大津、徒歩生活圏の膳所が舞台の小説なんて、  
なんということ。面白いけど、変な面白さの第一話。



4月●日

こんなタイトルの雑誌を見ると手にしてしまう。とは言え、  
コロナが明けて内外の観光客の多さは京都にいと実感する。  
年間スケジュール帳眺めながら10日位空けられるところを探して、  
海外一人旅もネット検索してみるが、もうしんどいかなあとも思ったり。  
GW 前に、突然の思いつき一人旅とか？



5月●日

GW 期間中は一人で暇している。そこで去年一年 HP で

連載していた映画についてのコラムをフォトブックにまとめている。

何か作っているのは本当に楽しい。並行して一昨年の連載コラムも一冊にし始めたが、こちらは手間がかかりそうだ。ゲラのため100 頁程の一冊目はしまうまプリントに注文した。



(この表紙は変更することにした)

5月●日

能登半島で地震。知人も多いエリア、ニュースが気になるGW。こもりきり生活の中、録画してあった映画を見たり、分厚い新しい小説を読み始めたり。

「あちこちオードリー」、オリラジ出演回を YouTube で見た流れで、「作久間宣行のオールナイトニッポン」に飛んで関連話を聴く。面白い。



5月●日

昼前に集合の漫画同人「ぼむ」の月例会。今日は六人。



和食ランチの後、タルト・タタンの店で久々パーティー  
抜きでワイワイ。その後、分かれた三人がコーヒー店で続  
きを延々と六時前まで。

仕事場に戻る道すがら、余花庵でグループ展開催中  
の篠原を覗くと、まだ一人居残っていたので、そこでまた  
一時間半立ち話。よく喋るものだ。

いまスイスイ読んでいる短編集はこれ。出れば必ず読  
む著者、砂原浩太郎。明日の東京 WS、準備は万全。



5月●日

東京家族理解ワークショップを品川で開催中。十八人  
参加で雨模様の中、無事スタート。開口一番は、個人シ  
ステム、家族システム、社会システムの話。この話にし  
ようと考え始めて、気づいたことがあった。時代の関心は  
なぜ家族システムに向かえなかったのか。面白い。



5月●日

上野でマチス展をと前から予約してあった。早めにJR  
上野公園口を出てすぐの国立西洋美術館前を通ると、オ  
ヤ、常設展無料の日。MOMA でもそんな日があったなあ  
などと思い出しながら入場。良いなあと思うものに会う。

続きでマチス展に。しかし懸念通りあまり好みではなか  
ったので、さっさと終了。



予定より早く東京駅に戻ってきてしまった。書店を覗いて  
飯食って帰路の新幹線の予定には少し時間が余る。

駅横のはとバス乗り場を見たら、一時間のノンストップ・  
パノラマバス観光が14時発。東京で観光バスなんて  
久々。

戻って駅前ビル KITTE の博物館に(二度目)。丸善で未  
知の本一冊買ってつばめグリルで早目の夕食。そして帰  
路車中は読書。



昔、よくこういうのあった。ツアーに参加すると、全く知  
らない人との集合写真。後で希望者に販売。誰が買う



の？ スマホの時代になって、もう考えもしなかったが、この趣向。走行中の二階建てバスを、歩道橋の上からカメラマンが通過の一瞬を写す。HP上で翌日だけ見られる。



5月●日

家族応援プロジェクトの月例会に、茨木の立命館大学へ。道中、これを読み耽っていて、気づいたら茨木駅を発車していた。新大阪駅まで乗って、Uターン。約束の時刻には15分遅刻。滅多にないことだから、熱中していた読書が嬉しい。



5月●日

昨夜はこの企画の2年目。zoom 企画なのに拘束が強いかな。

朝からストレッチを済ませてランチ。この後、週末のWSのレジュメ準備。対人援助学マガジン53号用の自分

の原稿作り。フォトブック企画は三冊中の一冊が完了。二冊目にかかっている。しておきたいことで忙しい。



5月●日

ちょっと久しぶりに伊丹空港。ご依頼のある間は、出来ることをさせていただきます。遠出は苦にならないので、道中旅も楽しみです。似た名の方が76歳で亡くなったニュースでいっぱいの日、団士郎は76歳になりました。

これからもどうぞよろしく遊んでやってください。

